

魅力ある県立高校づくりの推進に関する提言書

近年、少子化や私立高校の授業料無償化の影響を受け、公立高校の定員割れは全国的に増加している。加えて、広域通信制高校など進学先は多様化し、福井県でも特に地域の県立高校で定員割れが起こりやすくなっている。県立高校は、地域の未来を担う人材を育成する場であり、持続可能な地域づくりに必要不可欠だ。しかし、生徒数が減ると、生徒の学習活動や課外活動だけでなく、地域そのものに大きな影響が出る可能性がある。誰一人取り残さず、一人ひとりの可能性を伸ばし、多様な学びを提供することが、県立高校の重要な役割だと考える。

地域の期待に応え、生徒が意欲的に学べる魅力ある県立高校づくりを推進するために、以下の通り提言する。

- 1 老朽化した県立高校の施設や設備について、メンテナンスのスケジュールを広く周知すること。また、高校生からの要望に応じてメンテナンスのスケジュールを見直すこと。
- 2 地域の学校で学びたいという意欲のある生徒たちをサポートするために、高校ごとの自習室利用のニーズを調査するとともに、各県立高校のニーズに応じて自習室の時間延長を検討すること。また、山間部の県立高校への予算を優遇し、生徒の主体的・意欲的な活動の支援体制の充実を図るために、探究活動や部活動におけるレンタルバスやタクシー利用の補助などを行うこと。
- 3 以下の県立高校限定の事業を検討すること。
 - ①公共交通機関利用の際、県立高校生限定割を発行すること。
 - ②映像制作会社と連携し、県立高校をアピールできる映像を制作するよう映像制作会社に働きかけること。
 - ③一人ひとつだけ在学している高校の校則を無効化できる制度を検討すること。
 - ④授業日や時間割の柔軟な設定を行うこと。
 - ⑤地域政策学部と大野高校のように、福井県立大学と各県立高校の連携強化を図ること。
- 4 魅力ある県立高校づくりについて、2か月に一回程度、高校生を中心に幅広い年齢層、多様な立場の人々が気軽に話せるオンラインミーティングを設定すること。

令和7年8月4日

福井県知事 杉 本 達 治 様

大野高等学校

チーム「Hiyayakko」

巖 謙 優 齊 藤 汐 風 音

廣 瀬 雫 月 松 田 蓮 生